

清友

No.138

2021年2月
(2021年2月2日発行)



雪の新宿御苑にて
(現在はコロナで休園中)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

3・11 「演芸鑑賞会」は中止！

4・2 「お花見の会」は様子見

昨年12月から急増したコロナウイルス感染は、依然、高リスクの状態にあり、1月7日に出された「緊急事態宣言」は、1ヶ月間延長されます。3月からの行事再開を考えていましたが、コロナをめぐる状況が引き続き厳しいことを踏まえ、計画変更せざるを得なくなりました。

演芸を楽しむ会は残念

「演芸を楽しむ会」を開催する予定の3月11日は、微妙な時期です。「緊急事態宣言」が解除されたとしても、私たちが感染弱者であることを考慮する必要があります。残念ですが、中止することになりました。



4月2日小金井でお花見

お花見ウォーキングは、4月2日 小金井公園 参加費500円で開催する予定

5月にフィールドワーク

定です。現在、都立の有料公園は閉園中です。これが解除されなければ開催困難です。状況が不透明なので、予定していた今月の参加募集開始を見合わせ、2月末に可否の最終判断をします。

5月にフィールドワーク

5月には「つくだ・つきしまフィールドワーク(もんじゃの会)」に再チャレンジします。もう、その頃には行事開催に支障がなくなっていることを願うばかりです。



6月に定期総会を開催

延期していた第13回定期総会は、6月11日に開催します。何としても開催したいのですが、今年も開催困難ならば、「書面開催」方式とします。



いのちと暮らしと雇用・営業を守れ！

コロナ関連法の改正により、入院拒否や営業時短に応じない事業者等に「料料」を課すこととなります。「お上の命令を守らない奴にお仕置きを」というものですが、ペナルティが課されることにより、感染事実の申告や感染源特定等に支障が出る危険が高まります。感染症対策はペナルティではなく、医療体制の充実と完全な補償による安心感をベースにすべきです。



21年度の年金額は0.1%減額
マクロ経済スライドによる調整率
0.1%減は来年度以降に積み残し

「マクロ経済スライド」とは

「現役被保険者の減少」と「平均余命の伸び」に基づきスライド調整率を設定、年金改定率から控除する仕組み。

● 21年度指数

* 公的年金被保険者数の変動率 (0.2%、2017～19年度平均) × 平均余命の伸び率 (△0.3%、定率) = スライド調整率 (△0.1%)

● デフレ時の適用

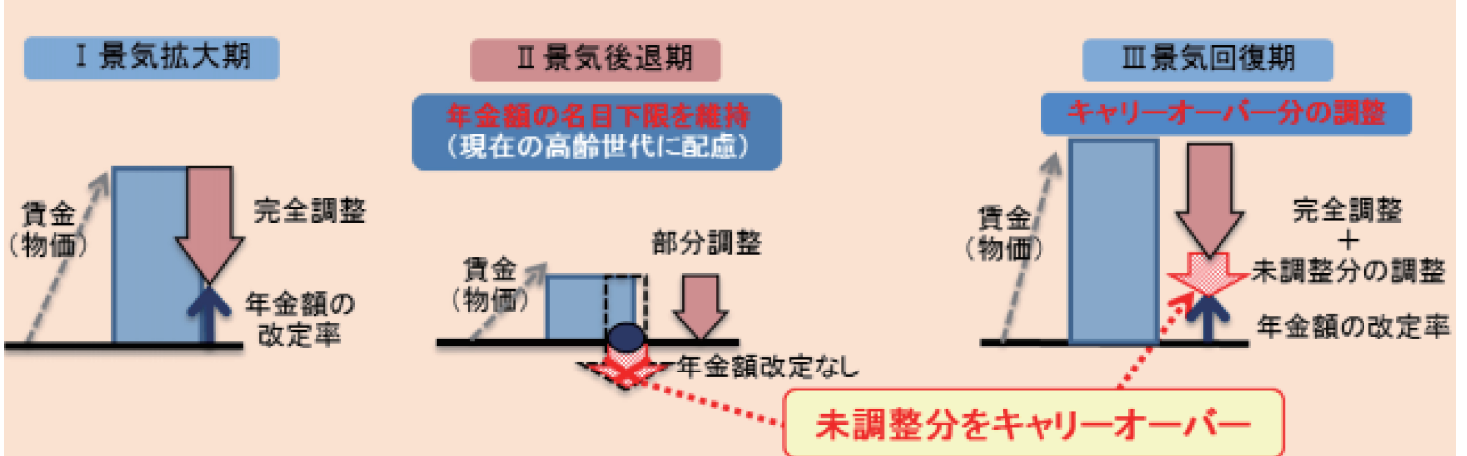
* 年金額改定率がゼロ以下の場合、引下げ分は積み残し (キャリアオーバー)、次年度以降調整する仕組みになっています。
 * 今年はこれが適用され、「マクロ経済スライド」によるマイナス0.1%分は、来年以降の年金額プラス改定時に減額されることになります。

厚生労働省は、1月22日、21年度の年金額を「0.1%引下げ」と発表しました。厚生年金は、月額228円減(夫婦2人の標準世帯の例)となります。総務省調査による「20年度消費者物価指数」は0%でしたが、「名目手取り賃金変動率」(実質賃金変動率×物価変動率×可処分所得割合変化率で算出)がマイナス0.1%になり、今年度から適用される「物価指数と賃

金変動率の低い方」に年金の改定率を合わせるルールに基づき0.1%引下げとなりました。一方、マクロ経済スライド調整率はマイナス0.1%でしたが、年金額が引下げになるため、この分は来年度以降に積残しとなります。マクロ経済スライドが0.1%減に留まったのは、加入枠拡大による年金保険加入者増が寄与しています。コロナの影響はまだ出ていません。

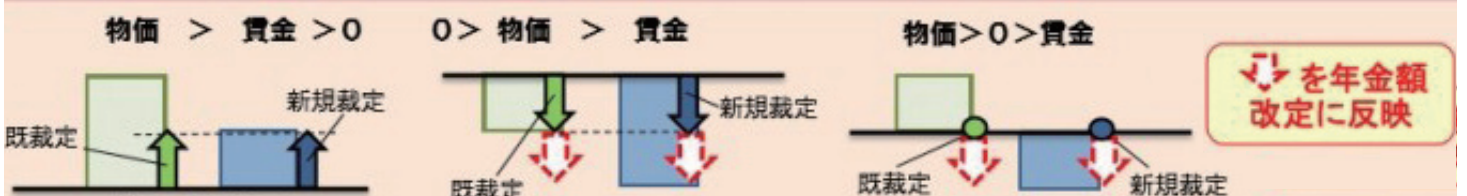
● マクロ経済スライドによる調整ルールの見直し (2018年4月より適用)

景気回復局面においてキャリアオーバー分を早期に調整 (高齢者の年金の名目下限は維持)



● 年金額改定ルール (賃金・物価スライド) 見直し (2021年4月より適用)

年金は世代間の仕送りであることから、現役世代の負担能力が低下しているときは、賃金変動に合わせて改定



雇用改善、年金・地域包括ケアネット・医療保険・介護保険改善、税制改善、コロナ禍の貧困対策強化

退職者連合「2024通常国会へ向けた21重点要求」

1月27日の参院予算委員会で、「収入を失い路頭に迷う方々、命を落された方が多数にのぼる。政府の政策は届いているのか」との質問に対し、菅首相は「最終的に生活保護がある」と言い放ちました。これが菅流「公助」の正体です。政治を変えなければ、私たちの生活や安全は守れません。

退職者連合は、国の予算に反映させる取組みとして、総会で決めた「政策・制度要求」にその時々課題を加味した「重点要求」を発表しています。今年にはコロナ対策重視です。

1 雇用改善

(1) 社会保障の基盤である雇用の安定と拡大を図ること。偽装請負やフリーランス等の就労者保護法制を整備すること。
(2) 低所得高齢単身女性を生み出す主要原因である雇用における男女不平等をなくすこと。

2 年金保険

(1) 短時間労働者の被用者年金保険加入をさらに拡大すること。少なくとも企業規模要件は即時全面廃止すること。
(2) 基礎年金保険料の拠出期間を、現在の40年から45年(20〜65歳)に延長すること。
(3) 医療・介護従事者などエッセンシャルワーカーの労働条件の改善に努めること。

3 地域包括ケアネット

(1) 住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、街づくりと一体で医療・リハビリ・介護の提供基盤を整備し、感染症拡大等緊急事態に対応可能なケアネットを実現すること。
(2) 医療・介護・リハビリ従事者の処遇を改善すること。

4 医療保険制度

(1) 後期高齢者医療費窓口負担



5 介護保険制度

200万円以上(単身世帯年収)2割化は最小限度の趣旨を逸脱している。受診回避による健康悪化と生活困窮の防止策として配慮措置を拡充すること。
(1) 「介護離職ゼロ」実現の前提として、介護職員の賃金改善のため、「介護職員処遇改善」等の「加算」措置を増額し、非正規・時給職員を含むすべての労働者に適用すること。
(2) 小規模多機能型居宅介護などの介護報酬を改善し、柔軟に対応できる居住系サービス施設の拡充を図ること。
(3) 介護保険被保険者を医療保険加入者全体に拡大すること。
(4) 利用者負担は原則1割を維持すること。

6 税制

持すること。3.2割負担の所得基準は当事者の利用抑制を起させない水準とすること。負担能力の判定根拠に金融資産を持ち込まないこと。

7 コロナ禍における貧困対策

(1) 個人所得税の所得再分配機能を強化すること。そのため、金融所得と勤労所得を一体とした総合課税にすること。
(2) 企業が社会的責任を果たす税率を確立し、租税回避の防止、公正課税を実現すること。
(3) 低所得階層の消費税対策は、「消費税還付制度」か「給付付き税額控除」を導入すること。
(1) 生活保護基準の再切り下げを行わないこと。生活困窮者自立支援法に基づく実効ある事業を実施すること。
(2) 家事・育児・介護を男女が協同する取組みを進めること。
(3) コロナ禍による介護分野の生活支援等の休止に対処する支援体制を整備すること。
(4) 自粛生活によるDV・虐待増加に伴う相談窓口充実、被害者保護・支援を行うこと。

狭山東京実行委員会第26回定期総会

新型コロナウイルス感染症により、20年は2月の狭山東京集会をはじめ、5月・10月の全国集会などごとく中止せざるを得なず、狭山現地調査も、10月に行なった東京清掃を除き一つも行えなかった。

こうした中、弁護団提出の石川さんの無実を証明する決定的証拠が出そろい、再審開始に向け最大の山場を迎えている。何としても21年には再審開始をの強い意気込みで、狭山東京実行委員会第26回総会が、12月17日に行なわれた。

コロナ対策で参加人数をしばらくのため各構成団体代表出席の形となり、私は自治体退職者会東京本部から参加した。総会では、桐田事務局長（元東京清掃委員長）が議案を提案、「21年を事実調べ実施・再審開始の年に！」をスローガンに、あらゆる取り組みを集中するとした方針が、全会一致で確認された。質疑では私も発言し、三多摩地域タウン紙の「狭山意見広告」の取組みや、東京清掃が行った狭山

現地調査について報告した。

第1部の最後に、会場に來られなかった石川一雄さんと早智子さんのメッセージと、東京実行委に結集する様々な人たちの、決意を語る元気な姿が上映された。

第2部は、狭山弁護団河村弁護士による「再審に向けた情勢と課題」の講演。インクの化学分析により、石川さんが犯人とされた最大の証拠品の万年筆は、全くの偽物であることを明らかにした鑑定を中心に解説し、再審請求が最終局面を迎えており、何よりも重要なのは証人尋問を含めた事実調べであり、何としても21年に実現させたいと強調した。

総会の最後に、参加者全員で「第3次再審の扉を必ず開かせよう」の誓いを確認し終了した。（押田記）



2019年秋の狭山集会

訃報

金高毅さん逝去

玉川支部長、中

関りました。

執を長く務めた金高毅さんが1月21日に亡くなりました。

運動領域は、労働運動だけでは

金高さんは、東京清掃の運動に新たな地平を切り拓きま

した。70年代初頭、過酷な労働条件改善に立ち上がった下

請け運転手の闘いを支え、下請けと東京清掃を結びつける

役割を果たし、現在の東京清掃では普通に語られる「下請けとの共闘」や「社会的労働運動推進」の運動理念を東京清掃にもたらす端緒を開き、発展に寄与しました。

職場で起きた部落差別事件を契機に形成された「清掃・人権交流会」の創設にも深く

関与しました。その金高さんを、入所先の老健施設でクラスターが発生したコロナの感染により喪ったことは、返す返すも残念でなりません。享年79歳でした。謹んで哀悼の意を表します。

「等々力花見事件」をはじめとする小説、随筆、紀行文などを上梓しました。

その金高さんを、入所先の老健施設でクラスターが発生したコロナの感染により喪ったことは、返す返すも残念でなりません。享年79歳でした。謹んで哀悼の意を表します。

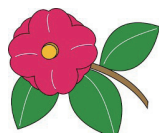


「近況報告」をよろしく

今年も、みな様の近況をまとめた「会員のいま2021」を発行します。日常の出来事や、現在関係している運動や社会のこと、今考えていることなど、何でも結構です。紙面交流としても活用してください。

設問内容は以下の通り、投稿をお待ちしています。

- (1) 昨年、心に残ったことは何ですか。楽しかったこと、身の回りのこと、コロナのこと、社会的なことなど…。
- (2) 今年はどういう年にしたいですか。目標や過ごし方など何でも結構です。
- (3) 来し方行く末、社会的問題等を含め、自由意見。



「三多摩のコロナ困りごと相談」で見えてきたこと

郡司 實

『2020年三多摩コロナ困りごと相談』は、府中を皮切りに、国立、多摩、立川、狛江と5つの自治体の相談会を行いました。今後、八王子も開催されます。

世田谷時代の仲間とともに

相談に関わった実行委員会はそれぞれの自治体で市民運動や労働組合を担っている方々で、弁護士、女性相談員、各自治体の市議、行政関係者の協力や、市民からのカンパ、食料品の提供がありました。

国立相談会の実行委員長は清掃退職者会の押田五郎さん、狛江の事務局長は清掃世田谷を退職して狛江市議になった清水信之さん、清掃世田谷支部のときに共に執行部を担った仲間との再会がありました。

相談は深刻なものばかり

相談の内容は、「解雇された」「所持金がない」「路上生活を余儀なくされている」、狛江の

例では女性が「解雇され、今後の生活の不安がある」と訴えるなど深刻なものばかりでした。とりわけ深刻だったのは、「今日、寝る場所がない」というものでした。ケースワーカーに待機してもらい、生活保護につなげることができました。即、対応できるところが、三多摩コロナ困りごと相談会の特徴です。

今回、若い女性の相談があったことも印象に残りました。

運動の蓄積が相談会に結実

私も関わっている『府中緊急派遣村』は、通年を通して相談会を実施しています。派遣村の長い運動蓄積やノウハウが相談会で生かされました。派遣村が活動できるのは拠点があるからです。府中駅から歩いて5分のところにあるフリースペース『あしあと』です。

ある方がマンションを20年間無償で提供してくれました。市民団体は無料で使うことが



でき、ここから緊急派遣村や緊急派遣村労働組合の活動につながりました。

また、自治体の市民運動や労働組合の交流ができたことも相談会の大きな成果でした。

格差拡大に抗する運動を

資本主義経済のもと、新自由主義政策や働き方改革が格差社会をつくり、貧困を生み出しました。コロナ禍により一気に浮上しました。コロナは誰にも感染しますが、社会的弱者ほどコロナの脅威にさらされます。格差社会が原因です。アメリカコロナパンデミック教授ジョセフ・スティグリッツ氏は「格差社会はますます拡大する」と述べています。

資本主義のもとで格差の拡大に抗していくには、お互いを支える仕組みが欠かせません。都内をはじめ、各地の「相談会」等の取組みは、格差社会に対する市民・労働者による抵抗の始まりだと思えます。

お茶をゆつくり飲むとウイルス死ぬんだって

昨春の「緊急事態宣言」当時、



37・5度以上の熱が4日間続かないと、PCR検査を受けられませんでした。

今でもPCR検査の不備は問題ですが、さらにひどいのは、コロナに感染し自宅で死ぬ方が後を絶たないことです。訃報に載せた金高さんも、入所先の老健施設でコロナに感染後10日も入院待ちをした末、様態が急変し亡くなったとのことでした。公的病院の民営化や医療体制の脆弱化をもたらす政策を進めた自民党政治のツケで、いのちが奪われています。何とも悔しい限りです。

もやもやした気分していると、元事務局の佐々木則子さんから「頑張りましょう。お茶をゆつくり飲むとウイルス死んでた。お勧めです。」というほんわかしたメールが届きました。そう、菅政権打倒の行動に励みながら、毎日、お茶をゆつくり飲もう。



労働者・商店の生活を守れ！有効なコロナ対策を講じない菅政権に終止符を！

コロナ感染が深刻な状況にあるにも関わらず、菅政権は国会を閉じて有効な対策を講じてきませんでした。

ようやく1月18日に通常国会が開会され、この日と翌日の両日、「いのちとくらしと雇用・営業をまもれ！改憲手続法強行許すな！改憲反対」国会前集会が開かれました。

主催者と立憲野党国会議員の挨拶に続く市民の報告では、18日は共謀罪NO！実行委の



方が「菅政権が進めるデジタル改革に騙されてはいけない。データを資本の儲けの道具にするものだ」、自由法曹団団長（弁護士）は、「改憲手続法は広告規制や公務員・教育者への運動規制等問題がある。審議も採決もすべきではない」と報告、民医連の方は「救急車の搬送困難事例が増し、助かる命も助からない」と医療現場の状況を訴えました。

19日は、辺野古の現状や安保法制違憲訴訟の報告に続き、ピースボートの方が「核兵器禁止条約を政府に批准させる運動を進めよう」と力説しました。18日と19日の行動で特に強調されたのは、「コロナ対策は菅政権に任せられない。新自由主義により市民生活が破壊される。菅政権の無策の政治に終止符を打とう」というものでした。無能な菅首相は直ちに退陣すべきです。

「韓国サンケン解散・全員解雇」の強行を許さず、日韓労働者の連帯で闘争勝利へ！

サンケン電気は、「韓国サンケン解散・全員解雇」を、1月20日に強行しました。コロナで来日闘争ができないことを見越した卑怯なやり口です。

ネット中継で日韓労働者の連帯と闘う決意を共有

1月21日昼、サンケン電気東京事務所前（池袋）で、「韓国サンケンの解散・清算を撤回しろ！全員解雇を許さない！」と、怒りの抗議集会が行われました。

集会で韓国現地（馬山）・東京・大阪を結ぶネット中継も行われ、韓国現地から、「私たちは虫けらではない。使い捨ての部品ではない。人間だ！」「高額の慰労金提案にも誰一人退職に応じず、闘いに立ち上がっている」と意気込みが示されました。また、韓国サンケン廃業の一方でLG財閥と組んだ新規事業を目論んでいるといわれ、韓国の公共テレビでも大きく取り上げられて、「渡り鳥企業サンケン」を許す

な！」の声で韓国で広がっていることが報告されました。テント撤去・組合事務所退去要求により緊張高まる韓国現地

集会後の情勢として、韓国現地では、1月28日に会社側から「会社敷地内のテントと組合事務所退去要求」が出され、緊張が高まっています。勿論、200日の籠城闘争が続いている韓国サンケン労組は、恫喝に屈せず意気軒昂です。

